

(様式1)

学校番号 (小・中 13)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(曳馬小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

・地域や保護者との連携をさらに深め、学校行事や学習活動に地域の力を生かす体制を整える。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

・現状・目標・手立てが明確に示されたことで、委員や教職員、子供にとっても分かりやすい方針となり、学校が目指す方向性への理解が深まったから。
・協議会での熟議が、子供たちが主体的に運営する運動会などの成果につながり、教育目標である「よろこびをつくりだす」姿として具現化されたから。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

・「目指す子供の姿」を軸に地域の役割を議論したことで、支援の重要性や協力体制の必要性について共通認識をもつことができたから。
・算数ボランティアなどの成果はあったが、協議中止の影響もあり、学校教育目標と支援活動を連動させた具体的な熟議や、学校が真に求める支援の実践には至りきらなかったから。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

・自治会、ボランティアグループ、放課後児童会、就学前施設など、それぞれの足場を活かして学校の改革姿勢やコミュニティ・スクールの活動を周知した。
・PTA全体への周知には課題が残ったものの、花壇水やりボランティアの募集に反応があるなど、発信が具体的な協力行動につながる手応えを得られた。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

・学校支援コーディネーターの選任・配置を検討するとともに、PTA活動の変化を見据え、地域住民がより参加しやすくなるような活動事例の周知や仕組みづくりを推進する。
・学校の取組や子供たちの生活実態をより深く把握し、児童・保護者のニーズに合致した地域独自のサポート体制を具体化・強化していく。